

年末にむけて 人の管理と清掃について

J A S M E Q 顧問 中村 優

いよいよ今年も後 1 か月です。若い時は年末の繁忙期になると仕事が増え肉体的にきつくなるのですが、気持ちはそれに反して異常に高揚していました。最近では体力が衰え、気持ちと行動のずれを感じています。私的なことはさておいて、製造現場では年末・年始の商品が一番気を使われると思いますが、体調と衛生管理に注意して業務されてください。年末に向かい検討していただきたいことを載せました。

また、今回は（案内が重複しているかも知れませんが）1月19日に準備しています、J A S M E Q セミナーのご案内を添付させていただいていますので、参加をご検討下さい。

1、集団感染の防止、ノロウイルス・インフルエンザの予防について

インフルエンザの流行はいつになく早く始まっていて、もう 5 万人以上の患者がでてしていると報道されています。どの工場も余裕を持った人員があるわけでもないで、体調がすぐれなくても「休むと他の人に迷惑になる」と思い無理して出勤し、場合によっては感染させてしまうことがあります。そこで、製造現場では最低、以下の取り組みを検討してみてください。

1) 本人又は家族でインフルエンザ・ノロウイルスの感染者がいたら会社に連絡させる。

会社では出勤基準を作成し従業員に徹底する

2) 出勤時に健康チェックを行う（体温計で検温できるようにする）

①手指のキズや荒れ ②発熱の症状 ③嘔吐や下痢の症状 ④その他の体調不良など

④検温（家族に罹患者がある場合）

3) インフルエンザワクチンの接種

効果の個人差もありますが、集団感染を防ぐ目的で全員が接種させている所もあります

4) ノロウイルスの消毒方法

知っていると思いますが以下に掲載します

①施設・器具等：「85℃ 1 分以上の加熱」又は「2 0 0 P P M 次亜塩素酸ナトリウムに 5 分浸漬」

②嘔吐等：1 0 0 0 P P M の次亜塩素酸ナトリウムに 1 0 分浸漬

③ 2 0 0 P P M 次亜塩素酸ナトリウムの作り方

原液濃度 6 % の場合：3 0 0 倍希釈（原液 1 0 m l + 水 3 l 入れる）

④ 1 0 0 0 P P M 次亜塩素酸ナトリウムの作り方

原液濃度 6 % の場合：6 0 倍希釈（原液 5 0 m l + 水 3 l 入れる）

2、石けん液・アルコールの補充の注意点について

①手洗い石けん：希釈の低い液は、洗浄力の弱さだけでなく、継ぎ足しを繰り返すと微生物汚染につながります。適切な濃度と使いきれぬ量（又は残量を少なく）で管理して下さい。

②アルコール：石けんと同じように、継ぎ足しやめるか残量が少なくなってから補充してください。アルコールの残量が多い状態で補充を繰り返すと、気化してアルコール濃度が低くなっていることもあり、効果が弱くなります。※「一日分を目安に」容器に部署毎にマーキングをしておいて、補充交換されている工場があります。これだと、濃度管理とともに、作業者がキッチンと使用しているかどうかの判定にも役立ちます。

3、5 S（整理）について

年末は大掃除に時期でもあります。5 S の活動で「あれもこれも」することはなかなか出来ない工場もあるかと思います。そこで 5 S の一つ「整理」に取り組んではいかがでしょうか。

「整理」と言っても「乱れたものを整える」提案ではありません。「捨てる」提案です。不要な物や使用頻度の少ないものを捨てる（現場外に保管）ことです。基準として使用頻度月1回以下は外に保管するなど、現場の空きスペースの拡大と必要な物が探しやすくなります。「整理」はクモ・虫・ホコリ対策でもあります。

出来ましたら「物」だけでなく「作業」についても見直して、優先順位の低い作業を「整理（捨て）」し仕事の簡素化も図ってはいかがでしょうか。

4、清掃・洗浄・殺菌方法について

工場では「機械使用後の洗浄」「異物の除去」「微生物の除去」「防虫目的」他、清掃・洗浄・殺菌は色々な目的で行われています。洗浄の程度や異物などは目視で確認できますが、微生物の検証はできません。拭取り検査などで洗浄方法の検証を行い、結果によって洗い方や使用洗剤変更の必要も出てきます。使用する道具と薬剤の使用方法について見直してみたいでしょうか。

①道具：洗う物・場所・材質・機械の分解範囲・他の作業中での洗浄など、条件により色々変わってきます。使用するブラシでも、使う場所により形状が違ったり、色の区別をしたり、耐熱性のあるものなど色々です。又、ブラシなどが使えない場所によっては、発砲洗浄なども検討することがあります。

②薬剤：洗浄する薬剤は、汚れの種類により変わってきます。「たんぱく質」「脂肪」「炭水化物」「その他・機械油」など。それと使用する器具の材質も考慮しなければなりません。もう一つ大事なものは、濃度・温度・時間を正しい方法で使用することです。濃度が高ければ良いものではなくバイオフィームを作ったり、汚れを取れにくくしたりします。

以上

<編集後記>

■JASMEQ「商品事故削減会議第7回」が開催されました。55名の参加をいただきありがとうございました。終了後アンケートで、以下のようなご意見をいただきましたので、今後の活動の参考にさせていただきます。

<今後どのようなテーマを希望しますか？>

・HACCPについて（4件）・衛生管理について（4件）・異物混入（2件）・防虫対策（2件）・工場視点（2件）・入庫から出庫までの帳票類の良い例・夏場の湿気対策・商品事故削減成功例・栄養成分表示について（小ロット多数アイテムのため、コストを抑えるには）・衛生管理資材の新商品紹介・人員関係・社員教育

■皆様には、BCCでお送りしていますが、取引関係者及び関連会社の関係者への送付先追加希望（メールアドレスをお知らせください）がありました紹介下さい。（JASMEQ 中村・監物）

協同組合JASMEQ(ジャスメック)監物今朝雄・中村優

〒169-0072 東京都新宿区大久保2-3-4 出光新宿ビル 4階

Tel 03-6205-6677 Fax 03-6457-6759

E : k.kenmotsu@jasmeq.com

E : m.nakamura@jasmeq.com

皆様のご意見、投稿をお待ちしています。

お名前 _____ (匿名希望は希望ペンネーム等 _____)

御社名 _____ (公開可 非公開希望)

次号以降への掲載 _____ 掲載希望 _____ 掲載は希望しない。

(以下、自由に記載いただきメールで返信下さい。)

題名 (無くても結構です)